

IASB®基準 情報要請「Post-implementation Review – IFRS 13 Fair Value Measurement (適用後レビュー — IFRS 第 13 号『公正価値測定』)」に対する
コメント

国際会計基準審議会 (IASB) は、IFRS 第 13 号「公正価値測定」の適用後レビュー (PIR) の一環として、IFRS 第 13 号に基づき提供される情報の有用性、適用上の課題の有無、基準の適用または実施に関連して発生する予期しないコストベネフィットについて広く利害関係者からコメントを求める標記情報提供要請を 2017 年 5 月 25 日に公表した。

これに対して、経理委員会では、各質問事項に対する意見を取りまとめ、2017 年 9 月 12 日、IASB に提出した。

政 発 第 139 号
2017 年 9 月 12 日

国際会計基準審議会 御中

一般社団法人 日本貿易会
経理委員会

IASB®基準 情報要請

「適用後レビュー — IFRS 第 13 号『公正価値測定』」に対する意見提出の件

以下は、国際会計基準審議会 (IASB) の情報要請「Post-implementation Review-IFRS 13 Fair Value Measurement」に対する一般社団法人日本貿易会経理委員会のコメントである。一般社団法人日本貿易会は、日本の貿易商社及び貿易団体を中心とする貿易業界団体であり、経理委員会は、同会において本邦会計基準及び国際会計基準への対応を主な活動内容の一つとしている。(末尾に当会の参加会社を記載。)

【総論】

我々は、IFRS 第 13 号「公正価値測定」の適用後レビュー(PIR)の一環として、IFRS 第 13 号に基づき提供される情報の有用性、適用上の課題の有無、コストベネフィットに関して広く利害関係者から情報提供を求める決定を行ったことを歓迎する。

今回の情報要請を通じて、IFRS 第 13 号の有用性が向上するとともに、効率的な適用に繋がることを望む。

質問 1A – 回答者の経歴

下記について回答をいただきたい。

- (a) 公正価値測定に関する回答者の主な役割。例えば、財務諸表作成者、監査人、評価専門家、財務諸表利用者、規制機関、基準設定主体、研究者、会計専門家団体のいずれなのか。財務諸表利用者である場合には、どのような種類の利用者なのか（例えば、バイサイドのアナリスト、セルサイドのアナリスト、信用格付けのアナリスト、債権者・融資者、資産又はポートフォリオの管理者）
- (b) 回答者の主な法域及び業種。財務諸表利用者である場合には、どの地域及び業種をフォロー又は投資の対象としているのか。

(回答)

- (a) 公正価値測定に関する回答者の主な役割

財務諸表作成者

- (b) 回答者の主な法域、業種

主な法域：本社の法域は日本。関係会社は世界各地に所在する。

業種：総合商社（サービス業、金融業、製造業、農業等の多角的な事業を展開しており、各種事業の子会社を有する。）

質問 1B – 回答者の経験

下記の項目の公正価値での測定に関する回答者の経験はどのくらい広いか（処分コスト控除後の公正価値に基づく回収可能価額の測定を含む）

項目の種類	公正価値測定についての経験の程度		
	少ない	いくらか	多い
有形固定資産			
無形資産（のれんを含む）			
投資不動産			
生物資産			
子会社等に対する投資			
金融商品			
その他（具体的に示していただきたい）			

(回答)

項目の種類	公正価値測定についての経験		
	少ない	いくらか	多い

有形固定資産		✓	
無形資産（のれんを含む）			✓
投資不動産	✓		
生物資産		✓	
子会社等に対する投資		✓	
金融商品			✓
その他	✓		

<p>質問 2 – 公正価値測定の開示</p> <p>(a) レベル 3 の公正価値測定に関して提供されている情報はどのくらい有用と考えているか。どのような具体的情報が有用なのか及びその理由についてコメントをいただきたい。</p> <p>(b) レベル 3 の公正価値測定についての回答者の経験において、</p> <p>(i) 集約とありきたりの開示が、結果としての情報の有用性にどのように影響を与えているか。回答を説明する例を示していただきたい。</p> <p>(ii) 情報の有用性に影響を与える他の要因（IFRS の要求事項の中でも外でも）を承知しているか。回答を説明する例を示していただきたい。</p> <p>(iii) そのような要因が提供される情報の有用性を低下させることを防ぐ方法について提案があるか。</p> <p>(c) レベル 3 の公正価値測定の開示のうちどれが最も作成にコストが掛かるか。説明していただきたい。</p> <p>(d) 回答者が有用と考える公正価値測定に関する情報の中で、IFRS 第 13 号が企業に開示を要求していないものがあるか。ある場合には、それがどのような情報なのか及びそれを有用と考える理由を説明していただきたい。そうした情報の開示の例を示していただきたい。</p>

(回答)

- (a) IFRS 第 13 号第 93 項(e)は、公正価値ヒエラルキーのレベル 3 に区分される経常的な公正価値測定について、期首残高から期末残高への調整表を開示することを要求しており、観察可能でないインプットを基に測定されている資産等の公正価値の調整表を開示することが、財務諸表利用者にとって一定の便益があることは理解できる。

然しながら、企業の事業管理レベルや公正価値の変動が企業へ与える影響に関わらず、

レベル 3 に区分された全ての資産(例えば、市場価格のない資本性金融商品等)の公正価値の変動を一律に開示しなければならないことは、財務諸表作成者にとって大きな負担となっている一方、財務諸表利用者にとって有用性が低いと考える。(伊藤忠商事)

また、実際には複数の金融商品等を集約して開示せざるを得ないが、斯かる場合、開示される情報と個々の金融商品の関連性が不明確になる為、利用者にとって有用な情報ではないと考える。

(b)

(i) インカム・アプローチを用いた公正価値測定では、第 93 項(d)(g)の要求事項に従い、重大な観察可能でないインプットとして割引率を開示するケースがあるが、多岐にわたる案件を集約している為、最高及び最低の約 10%のレンジで開示していると言った意見も聞かれた。また、下記(ii)で記載したビジネス上の秘匿性等の観点から同項(h)の要求事項に関して、「インカム・アプローチで評価される投資の公正価値は、割引率の上昇(低下)により減少(増加)する」といった一般的な説明に留めざるを得ないのが実情である。結果として、詳細分析のための有用性は低い開示となっている。

(ii) 情報の有用性に影響を与える要因として、ビジネス上の秘匿性がある。例えば(i)で例示した開示では、観察可能でないインプットの内、キャッシュ・インフローの重要な要素である価格前提やコスト、割引率の情報は、ビジネス上の重要な情報を開示することになりかねない。有用性の高さを確保するためには詳細な情報を開示する必要があるが、秘匿性の観点から情報開示に限界があり、両立は困難である。

(c) 第 93 項(e)が要求する調整表の作成に多大なコストが掛かっている。例えば、市場価格のない金融商品に関する情報を作成する場合、親会社のみならず子会社からも詳細かつ膨大な情報を取得し、内容を精査した上で細分化された複数のデータをマニュアルで集計、合算し、調整表を作成しなければならず、多大な労力を要している。なお、当該情報は有用性も低いと考えられる為、コストベネフィットの観点から要求事項を削除頂きたいと言った意見も聞かれた。

また、第 93 項(d)(g)(h)が要求する定量的情報、評価プロセス及び感応度に関しても、上記(b)の通り、開示できる範囲が限られているにも関わらず、監査人との開示可否或いは開示範囲の議論に時間を要し、作成コストが掛かっている。

質問 3 – レベル 1 のインプット又は会計単位の優先順位付け。
--

(a) 下記のことを評価するのに役立つため、回答者の経験を共有していただきたい。
--

(i) 子会社、共同支配企業及び関連会社に対する相場価格のある投資、並びに相場価格のある資金生成単位が公正価値で測定されることは、どのくらい一般的か（コメントの裏付けとなる例を示されたい）。

(ii) $P \times Q$ のみに基づいて測定した公正価値の金額（ P が個々の金融商品についての相場価格、 Q が保有している金融商品の数量である場合）と、他の評価技法を用いて測定した公正価値の金額との間に重要性のある差異があるかどうか。例があれば示していただきたい（差異に関する定量的情報や差異の理由を含む）。

(iii) 異なる測定の間的重要性のある差異がある場合には、実務においていずれの技法が使用されているか、また、その理由は何か。

回答者の経験が、特定の法域、地域又は投資の種類に関するものかどうかを示していただきたい。

(b) 当審議会は過去にこの領域で作業を行っている（付録3参照）。この領域に関して当審議会在が考慮すべきだと回答者が考えることが他に何かあるか。

(回答)

(a)

(i) 子会社、共同支配企業及び関連会社に対する相場価格のある投資が公正価値で測定される事例として、IFRS 第10号25項(b)の要求事項に従い、旧子会社に対して保持している投資を支配喪失日の公正価値で測定するケースがある。（三井物産）

また、相場価格のある資金生成単位が公正価値で測定される事例として、上場関連会社の減損テストにおいて使用価値ではなく売却コスト控除後の公正価値を回収可能価額として用いるケースがある。

(ii) $P \times Q$ に基づいて測定した公正価値と、他の評価技法、具体的にはインカム・アプローチを用いて投資先の事業計画に基づき算出した将来のキャッシュ・フローを割引く方法により測定した公正価値の金額との間には、以下の点から重要な差異が生じる可能性がある。

- ・株価には、支配プレミアム及び事業シナジー等の買収プレミアムが反映されていない。
- ・新興国への投資においては、市場に十分な厚みがなく、投機筋の動き等により相場価格(株価)が乱高下する。

特に子会社、共同支配企業及び関連会社に対する相場価格のある投資は、客観性や検証可能性等の観点から、調整なしの $P \times Q$ による公正価値測定を行うことが望ましい点は理解するものの、子会社等への投資並びにその公正価値測定の会計単位

を、投資を構成する個々の金融商品ではなく、投資の全体で考えるのであれば、本来、公正価値測定において支配プレミアム等の調整を行うことが整合的である。

支配プレミアムに限らず、影響力プレミアムや(影響力を有していない)大量保有によるプレミアムも、実際の取引においては考慮されており、これらのプレミアムの金額的重要性が高いケースも多い為、 $P \times Q$ のみに基づいて測定した公正価値の金額と、他の評価技法を用いて測定した公正価値の金額との間には重要な差異が生じる可能性が高い。

例えば、下記に示すケースでは、企業は経済合理性に適合と判断し投資を実行しているが、市場外で価格形成がなされていることから取得価額 = $P \times Q$ とはならない。

【重要な差異が生じる金融商品の取得事例】

- ・投資先がニューマネーを必要としており、第三者割当増資等の市場外取引に応じる場合、公開買付と異なり、必ずしも相場価格が取引価格まで上昇しない為、相場価格と取引価格に巨額の差異が生じるケース。
- ・株式市場に上場されているが流動性が低く、大量に取得するためには長期間(時には数年)を要する為、スピーディーに買収を進めるべく、大株主から相対取引にて取得する場合、取引相手が限られていることから、プレミアムの支払が必要になるケース。
- ・既存株主や投資先との関係構築の観点から、公開買付ではなく相対取引によって株式を取得する場合、プレミアムの支払が必要になるケース。

- (b) IFRS 第 9 号に基づき会計処理される資本性金融商品に関して、IFRS 第 9 号 B5.1.2A 項(a)により、取得価格が相場価格を上回る部分について、Day1 Loss として直ちに損失計上され得ることを懸念する。

$P \times Q$ に基づいて測定した公正価値の金額と取得価格が異なる場合、企業は株式に加えて「何か」を取得したと考えることが自然である。その「何か」とは、シナジー効果や事業拡大といった資本提携による経済的便益であるが、それらが無形資産の計上要件を満たさない場合には、経済的便益を見込んでいるにも関わらず Day1 Loss が認識される会計処理となり得る為、公開草案が対象としている子会社、共同支配企業及び関連会社に対する相場価格のある投資、並びに相場価格のある資金生成単位の公正価値測定の検討を進めるにあたっては、IFRS 第 9 号に基づき会計処理される資本性金融商品に係る Day1 Loss への影響を十分に考慮頂きたい。

質問 5 — 公正価値測定に要求される判断の適用

公正価値を測定する際の判断の適用における課題を評価するのに役立つため、回答者の経験を共有していただきたい。

- (a) 資産又は負債についての市場が活発かどうかを評価することには困難が多いか。その理由又はそうでない理由は何か。
- (b) あるインプットが観察可能でなく、かつ、全体の測定に対して重大であるかどうかを評価することには困難が多いか。その理由又はそうでない理由は何か。回答を説明する例を示していただきたい。また、回答者の経験が、特定の法域、地域又は資産又は負債の種類に関するものか示していただきたい。

(回答)

- (a) IFRS 第 13 号で定義されている「活発な市場」について、取引の量や頻度といった指標のみならず、より具体的な例示やガイダンスを提供すべきと考える。

「活発な市場」について、「資産又は負債の取引が、継続的に価格付けの情報を提供するのに十分な頻度と量で行われている市場」と定義しており、当該定義を満たす市場で取引されている相場価格は、調整なくレベル 1 インプットとして、公正価値として使用することを要求している。然しながら、取引の量や頻度については、どの程度で十分なのかの判断に実務上困難を伴うことが多い。具体的例示として、

- ① 政府機関等の特定の支配株主が、企業が発行している株式の過半以上を保有している等の理由により、市場で取引が可能な流通株式が相当程度限定されている（例：20%程度）場合、当該株式の取引市場を「活発な市場」とみなして、市場の株価をレベル 1 区分のインプットとして公正価値測定に無調整で使用すべきかどうか。無調整で使用すべきでない判断される場合に、その判断をどのように行うべきか。
- ② 上場株式の売却取引において、売却対象の株数が取引市場における 1 日の売買出来高を大きく超過している場合に、当該売却方針の保有株式に係る期末の公正価値測定において、無調整の市場株価を使用すべきかどうか。一定の調整を行う必要があるとされる場合に、その判断はどのように行うべきか。

質問 6A — 生物資産の公正価値測定に関する教育

生物資産の公正価値測定についての経験を記述していただきたい。

- (a) 測定において困難な側面はあるか。その理由又はそうでない理由は何か。回答を説明する例を示していただきたい。
- (b) IFRS 第 13 号を適用する際に、どのような追加的な支援が有用となるか（もしあれ

ば)。それほどの領域においてか。

(回答)

(a) 以下の点において生物資産の公正価値測定は大きな困難を伴うと考えている。

- ① 活発な市場の判断
- ② 公正価値が信頼性をもって測定できるという推定

① 活発な市場の判断

質問 5 同様、生物資産に限った問題ではないが、「市場が活発かどうか」を判断する基準が明確ではなく、判断に際し関係者間でも意見が対立することが多い。我々の経験上、市場の存在をもって、市場価格をもとにした公正価値測定を要求されるケースや市場の厚みを全く考慮せずに市場価格を絶対的に扱うケースが少なからず存在する。こういったケースにおいて、検証可能性、客観性確保の観点から、調整なしの $P \times Q$ による公正価値測定に一定の意義があると理解しているが、客観性確保のために本来追求すべき財務諸表の適正性が損なわれていると感じる。「市場が活発かどうか」の判断基準を具体的にまた、明確に示して頂きたい。

② 公正価値評価が信頼性をもって測定できるという推定

生物資産については、「公正価値が信頼性をもって推定できる」という推定規定が置かれており、「明らかに信頼できない」場合を除き、生育の初期段階の未成体（幼体）の生物資産についても、原則として公正価値測定が求められている。

生育過程の初期にある未成体の公正価値測定は、成体の市場価格に、不安定な致死率、成長率等のデータを掛け合わせることによって算出されており、市場価格以外の要素の変動が大きく、結果として算出される「公正価値」を財務諸表に反映させることで却って、財務諸表の比較可能性が損なわれ、信頼性を欠く状態となっている。

推定規定を維持し続けるのであれば、「明らかに信頼できない」場合の解釈について、信頼性が薄い場合に、より柔軟な判断が行えるよう、ガイダンスを提供して頂きたい。

質問 6B — 相場価格のない資本性金融商品の公正価値測定に関する教育

相場価格のない資本性金融商品の公正価値測定についての経験を記述していただきたい。

(a) 2012 年に、IFRS 財団の教育イニシアティブが、「IFRS 第 9 号『金融商品』の範囲に含まれる相場価格のない資本性金融商品」を公表した。この教育マテリアルを利用したことがあるか。ある場合、この資料は、相場価格のない資本性金融商品の公正価値を測定するためにどのように役立ったか。

(b) 「IFRS 第9号『金融商品』の範囲に含まれる相場価格のない資本性金融商品」で扱われていない疑問点があるか。追加的な支援が要求事項を適用する上で有用となると考えるか。そう考える理由又はそう考えない理由は何か。回答を説明する例を示していただきたい。

(回答)

(a) IFRS の初度適用において、非上場株式等の公正価値測定を検討、決定する際に利用経験がある。公正価値測定のための具体的な手法が掲載されており、統一的な公正価値測定確立に寄与した。

以上

一般社団法人日本貿易会

〒105-6106

東京都港区浜松町 2-4-1

世界貿易センタービル 6階

URL <http://www.jftc.or.jp/>

経理委員会委員会社

CBC 株式会社

蝶理株式会社

阪和興業株式会社

株式会社日立ハイテクノロジーズ

稲畑産業株式会社

伊藤忠商事株式会社

岩谷産業株式会社

JFE 商事株式会社

兼松株式会社

興和株式会社

丸紅株式会社

三菱商事株式会社

三井物産株式会社

長瀬産業株式会社

日鉄住金物産株式会社

野村貿易株式会社

神栄株式会社

双日株式会社

住友商事株式会社

豊田通商株式会社

ユアサ商事株式会社

Document No. 139
12 September 2017

Accounting & Tax Committee
Japan Foreign Trade Council, Inc.

To the International Accounting Standards Board

Comments on “Post-implementation Review
— IFRS 13 Fair Value Measurement”

The following are the comments of the Accounting & Tax Committee of the Japan Foreign Trade Council, Inc. (JFTC) made in response to the solicitation of comments regarding the International Accounting Standards Board IFRS® Standards Request for Information “Post-implementation Review— IFRS 13 Fair Value Measurement”. The JFTC is a trade-industry association with trading companies and trading organizations as its core members, while the principal function of its Accounting & Tax Committee is to respond to developments in domestic and international accounting standards. (Member companies of the Accounting & Tax Committee of JFTC are listed at the end of this document.)

General Comments

We welcome the decision made as part of the Post-implementation Review (PIR) of IFRS 13 *Fair Value Measurement* to request information from a wide range of stakeholders on the usefulness of information provided under IFRS 13, implementation challenges if any, and cost-benefit considerations.

We hope that this request for information will improve the usefulness of IFRS 13 and contribute to its effective implementation.

Question 1A—Your background

Please tell us:

- (a) your principal role in relation to fair value measurement. For example, are you a preparer of financial statements, an auditor, a valuation specialist, a user of financial statements, a regulator, a standard-setter, an academic, or a professional accounting body? If you are a user of financial statements, what kind of user are you (for example, buy-side analyst, sell-side analyst, credit rating analyst, creditor/lender, asset or portfolio manager)?
- (b) your principal jurisdiction and industry. If you are a user of financial statements, which geographical regions and industries do you follow or invest in?

Response

(a) Your principal role in relation to fair value measurement

Preparer of financial statements

Principal jurisdiction: Head office comes under jurisdiction of Japan. Affiliates are located throughout the world.

(b) Your principal jurisdiction and industry.

Industry: General trading company (The company operates highly diversified businesses including services, finance, manufacturing, and agriculture, and has subsidiaries in each field.)

Question 1B—Your background

How extensive is your experience in relation to the measurement of the following items at fair value (including the measurement of their recoverable amount on the basis of fair value less costs of disposal)?

Type of item	The extent of your experience with fair value measurements
--------------	--

	Little	Some	Much
Property, plant and equipment			
Intangible assets including goodwill			
Investment properties			
Biological assets			
Investments in subsidiaries, joint ventures or associates			
Financial instruments			
Other (please specify which)			

Response

Type of item	The extent of your experience with fair value measurements		
	Little	Some	Much
Property, plant and equipment		✓	
Intangible assets including goodwill			✓
Investment properties	✓		
Biological assets		✓	
Investments in subsidiaries, joint ventures or associates		✓	
Financial instruments			✓
Other (please specify which)	✓		

Question 2—Fair value measurement disclosures

- (a) How useful do you find the information provided about Level 3 fair value measurements? Please comment on what specific information is useful, and why.
- (b) In your experience of Level 3 fair value measurements:
- (i) how do aggregation and generic disclosure affect the usefulness of the resulting information? Please provide examples to illustrate your

response.

- (ii) are you aware of any other factors (either within or outside IFRS requirements) affecting the usefulness of the information? Please provide examples to illustrate your response.
 - (iii) do you have suggestions on how to prevent such factors from reducing the usefulness of the information provided?
- (c) Which Level 3 fair value measurement disclosures are the most costly to prepare? Please explain.
- (d) Is there information about fair value measurements that you think would be useful and that IFRS 13 does not require entities to disclose? If yes, please explain what that information is and why you think it would be useful. Please provide any examples of disclosure of such information.

Response

- (a) IFRS 13 paragraph 93(e) requires disclosure of reconciliation from the opening balance to the closing balance for recurring fair value measurements categorized within Level 3 of the fair value hierarchy. We appreciate that disclosure of reconciliation of fair value measurement of assets based on unobservable inputs has a certain degree of utility for users of financial statements.

However, requiring across-the-board disclosure of changes in the fair value measurement of all Level 3 assets (for example, unquoted equity instruments), regardless of the level of business management or the impact of changes in fair value measurement on the entity, places a heavy burden on preparers of financial statements. On the other hand, the benefit to users is believed to be low.

Moreover, in practice, a number of financial instruments are unavoidably aggregated for disclosure. We do not think that this provides users with useful information because the relation between the disclosed information and the individual financial instruments becomes unclear.

- (b)
- (i) In fair value measurement using the income approach, in some cases the discount rate may be disclosed as a significant unobservable input in compliance with the requirements of paragraph 93(d)(g). Comments were received that, due to the high degree of aggregation, disclosures were made over a range of about 10 percent of maximum and minimum levels. Another issue pertains to confidentiality of business operations as outlined under (ii) below. Due to confidentiality needs, responses to the requirements of paragraph 93(h) are frequently limited to very general explanations, such as: “The fair value of investments measured using the income approach will decrease (increase) as a result of an increase (decrease) in the discount rate.” As a result, the information provided by this disclosure is of limited use for detailed analysis.
 - (ii) Confidentiality of business operations is a factor affecting the usefulness of the information. For instance, in the illustration given in (i), disclosure requirements may extend to unobservable inputs that constitute important business information. This may include assumptions pertaining to price and cost, which are significant factors in cash inflow, and information on discount rates. While maintaining a high level of usefulness requires the disclosure of details, confidentiality limits the scope of disclosure. Satisfying both needs is difficult.
- (c) Preparation of reconciliation as required under paragraph 93(e) has proven to be very burdensome. For instance, the preparation of information on unquoted financial instruments requires the collection of vast amounts of detailed information from both the parent and subsidiary companies, which then has to be closely examined and manually collected and aggregated under numerous categories for purposes of reconciliation. This requires large amounts of labor. Moreover, because this information is believed to be of limited usefulness, comments were received calling for the elimination of this requirement from the perspective of cost-benefit.

The comments we have made under (b) above also apply to the

requirements of paragraph 93(d)(g)(h) pertaining to quantitative information, valuation processes and sensitivity. Although the scope of disclosure is limited, considerable time is consumed in discussions with auditors on whether or not to disclose and the scope of disclosure. As a result, preparation is costly.

Question 3—Prioritising Level 1 inputs or the unit of account

- (a) Please share your experience to help us assess:
- (i) how common it is for quoted investments in subsidiaries, joint ventures and associates, and quoted cash-generating units to be measured at fair value (please support your comments with examples).
 - (ii) whether there are material differences between fair value amounts measured on the basis of $P \times Q$ alone (when P is the quoted price for an individual instrument and Q is the quantity of financial instruments held) and fair value amounts measured using other valuation techniques. Please provide any examples, including quantitative information about the differences and reasons for the differences.
 - (iii) if there are material differences between different measurements, which techniques are used in practice and why.
- Please note whether your experience is specific to a jurisdiction, a region or a type of investment.
- (b) The Board has undertaken work in this area in the past (see Appendix 3). Is there anything else relating to this area that you think the Board should consider?

Response

- (a)
- (i) The following experience pertains to fair value measurement of quoted investments in subsidiaries, joint ventures and affiliates. In compliance with the requirements of IFRS 10 paragraph 25(b), fair

value of investments held in a former subsidiary is measured as of the date of loss of control.

The following experience pertains to fair value measurement of quoted cash-generating units. In impairment testing of a listed associate, fair value less costs to sell is used instead of value in use as the recoverable amount.

(ii) Material differences between fair value amounts measured on the basis of PxQ alone and other valuation techniques (specifically, fair value amounts based on discounted future cash flow computed from investee business plans using the income approach) may arise for the following reasons.

- Share prices do not reflect acquisition premiums paid for business control, synergy and other factors, which be used by market participants when pricing.
- Quoted prices (share prices) for investments made in emerging economies fluctuate significantly due to such factors as lack of market depth and speculative activities.

We can appreciate that, particularly in the case of quoted investments in subsidiaries, joint ventures and affiliates, fair value measurement based on PxQ without adjustments is desirable from the perspective of objectivity and verifiability. However, if the unit of account for investments in subsidiaries and others and their fair value measurement is the investment as a whole instead of the individual financial instruments included within these investments, it would be more consistent to make adjustments for premiums paid for business control and other factors in fair value measurement.

In addition to premiums paid for control, such factors as premiums paid for influence and premiums for large-volume holding (without influence) are also taken into consideration in actual transactions. In many cases, these premiums are of considerable monetary value.

As a result, material differences may arise between fair value amounts measured on the basis of PxQ alone and other valuation techniques.

For instance, in the example presented below, the investing entity considers its investment to be economically rational. However, acquisition cost is not equal to PxQ because price has been determined outside the market.

[Examples of acquisition of financial instruments resulting in material differences in fair value amounts]

- The investee needs new money and agrees to some form of off-market transaction, such as a third-party allocation of shares. Unlike in the case of a tender offer, the quoted price may not necessarily rise to the level of the transaction price. In this case, a very large difference arises between quoted price and transaction price.
- The investee is listed but the liquidity of its shares is very low. Consequently, any attempt to acquire a large volume of shares requires considerable time (in certain instances, several years). For speedy acquisition, an off-market transaction is arranged with a major shareholder. In this case, due to the limited number of potential counterparties, the investor may have to pay a premium.
- In order to develop relations with an existing shareholder or with the investee, an off-market transaction is arranged instead of making a tender offer. In this case, the investor may have to pay a premium.

(b) Regarding equity instruments treated according to the provisions of IFRS 9, we are concerned that based on IFRS 9 paragraph B5.1.2A(a), any portion of the acquisition price that exceeds quoted price may be immediately accounted as a Day 1 Loss.

Where there is a difference between acquisition price and the fair value amount based on PxQ, it is natural to think that the investor has gained “something” in addition to shares. This “something” may be the economic benefits derived from capital tie-ups, such as synergy effects or business expansion. In cases where these do not meet the requirements for treatment as intangible assets, Day 1 Losses may be recognized notwithstanding the fact that the investor expects to receive economic benefits. Therefore, as the Board moves forward in examining the fair value measurement of quoted investments in subsidiaries, joint ventures and affiliates, and quoted cash-generating units as covered by the Exposure Draft, we request that due consideration be given to the impact on Day 1 Losses pertaining to equity instruments treated according to the provisions of IFRS 9.

Question 5—Applying judgements required for fair value measurements

Please share your experience to help us assess the challenges in applying judgements when measuring fair value:

- (a) is it challenging to assess whether a market for an asset or a liability is active? Why, or why not?
- (b) is it challenging to assess whether an input is unobservable and significant to the entire measurement? Why, or why not?

Please provide specific examples to illustrate your response and note whether your experience is specific to a jurisdiction or a region or a type of asset or liability.

Response

- (a) Concerning “active market” as defined in IFRS 13, we believe more specific illustrations and guidance should be provided to go beyond transaction volume and frequency.

“Active market” is defined as “a market in which transactions for the

asset or liability take place with sufficient frequency and volume to provide pricing information on an ongoing basis.” Any quoted price in an active market that satisfies this definition must be used in fair value measurement without adjustment as a Level 1 input. However, in practice, it is often difficult to judge what degree of volume and frequency of transaction is sufficient. Specific questions requiring illustration include the following.

- (1) Consider a case in which shares in circulation and available for market transaction are significantly restricted (for example, about 20 percent of shares outstanding) because a majority of the shares are held by a government institution or a specific shareholder with controlling interest. In this case, should the market for these shares be deemed to constitute an “active market” so that the unadjusted market price is used as a Level 1 input in fair value measurement? If a judgment were to be made that the market price should not be used without adjustment, on what basis should such a judgment be made?
- (2) Consider a case in which listed shares are to be sold in numbers that greatly exceed the daily volume of market transactions of the share in question. In this case, should the unadjusted market price be used in measuring the end-term fair value of the shares earmarked for sale? If a certain degree of adjustment is deemed necessary, on what basis should such a judgment be made?

Question 6A—Education on measuring biological assets at fair value

Please describe your experience of measuring the fair value of biological assets:

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">(a) are any aspects of the measurement challenging? Why, or why not? Please provide examples to illustrate your response.(b) what, if any, additional help would be useful in applying IFRS 13? In which areas? |
|--|

Response

(a) We believe the following aspects of the measurement of biological assets at fair value present significant challenges.

- (1) Judgment on active market
- (2) Assumption that fair value can be measured reliably

(1) Judgment on active market

As in the case of Question 5, and not restricted to the issue of biological assets, clear criteria have not been established on whether a “market is active or not.” Moreover, the views of stakeholders often clash when a judgment is to be made in practice. Our experience indicates that in a considerable number of cases, the mere existence of a market is taken as sufficient grounds for requiring fair value measurement based on market price, or market price is treated as an absolute with no regard to the depth of the market. We do appreciate that in such cases, fair value measurement based on unadjusted PxQ has a certain degree of significance from the perspective of verifiability and maintenance of objectivity. However, we feel that appropriateness in financial statements, which should essentially be pursued, is being undermined for the sake of maintaining objectivity. We request that concrete and clear criteria be provided for judgment on whether a “market is active or not.”

(2) Assumption that fair value can be measured reliably

Concerning biological assets, there is a presumption that “fair value can be reliably estimated.” With the exception of instances of “clearly unreliable,” fair value measurement is, in principle, also required for biological assets that are in the early stages of development (immature biological assets).

Fair value measurement of immature biological assets in the early stages of development is calculated by multiplying the market price for mature biological assets by such unpredictable data as mortality rate and growth

rate, which depend on fluctuations occurring outside the market. Allowing “fair value” that has been computed in this way to be reflected in financial statements effectively undermines the comparability and reliability of financial statements.

If the presumption is to be maintained, we request that guidance be given on the interpretation of “clearly unreliable” so that greater flexibility can be exercised in judging situations of low reliability.

Question 6B—Education on measuring unquoted equity instruments at fair value

Please describe your experience of measuring the fair value of unquoted equity instruments:

- (a) in 2012, the IFRS Foundation Education Initiative published Unquoted equity instruments within the scope of IFRS 9 Financial Instruments. Have you used this education material? If so, how did this material help you to measure the fair value of unquoted equity instruments?
- (b) do you have questions not covered in Unquoted equity instruments within the scope of IFRS 9 Financial Instruments? Do you think that additional help would be useful in applying the requirements? Why, or why not? Please provide examples to illustrate your response.

Response

- (a) We have experience using this material in considering and determining fair value measurement of unlisted shares in the initial application of IFRS. The specific procedures for fair value measurement provided have contributed to the establishment of uniform fair value measurement.

Japan Foreign Trade Council, Inc.

World Trade Center Bldg. 6th Floor,
4-1, Hamamatsu-cho 2-chome,
Minato-ku, Tokyo 105-6106, Japan
URL. <http://www.jftc.or.jp/>

Members of the Accounting & Tax Committee of JFTC

CBC Co., Ltd.
Chori Co., Ltd.
Hanwa Co., Ltd.
Hitachi High-Technologies Corporation
Inabata & Co., Ltd.
ITOCHU Corporation
Iwatani Corporation
JFE Shoji Trade Corporation
Kanematsu Corporation
Kowa Company, Ltd.
Marubeni Corporation
Mitsubishi Corporation
Mitsui & Co., Ltd.
Nagase & Co., Ltd.
Nippon Steel & Sumikin Bussan Corporation
Nomura Trading Co., Ltd.
Shinyei Kaisha
Sojitz Corporation
Sumitomo Corporation
Toyota Tsusho Corporation
Yuasa Trading Co., Ltd.